

研究課題名「自閉スペクトラム症児に対する感覚処理や運動発達の視点を考慮した作業療法が親の「養育レジリエンス」に与える影響の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象は、2024 年 12 月～2026 年 3 月の期間に日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（以下、「第二病院」）の小児科医より、感覚処理もしくは運動発達の困難さを背景に作業療法の処方がされた、4 歳から 12 歳までの自閉スペクトラム症があるお子さん（以下、「ASD 児」）とその母親のうち、当院にて作業療法を 3 回以上実施でき、本研究の参加について文書にて同意が得られた方です。ただし、ASD 児の運動技能の困難さが、知的障害や視覚障害、または運動に影響を与える神経疾患由来であると診断された場合や、母親に精神障害の診断が下りている場合は対象外となります。

2. 研究目的・方法・研究機関

研究目的：

ASD 児に対する感覚処理や運動発達の視点を考慮した作業療法が、親の養育レジリエンスに与える影響を明らかにすることを目的とします。

研究方法：

第二病院での作業療法開始時と終了時に取得した、養育レジリエンスとそれに関連するいくつかの評価から得られた情報を扱います。評価の内容は「3」の②から⑧をご覧ください。作業療法開始時と終了時の評価結果を比較し、作業療法が養育レジリエンスに与える影響を検討します。

研究期間：

実施承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ① ASD 児の性別・年齢、母親の年齢
- ② 養育レジリエンス要素質問票（PREQ）：養育レジリエンスに関する質問紙
- ③ 子どもの強さと困難さアンケート（SDQ）：子どもの情緒や行動に関する質問紙
- ④ 育児ストレスインデックス（PSI）：親の育児ストレスに関する質問紙
- ⑤ カナダ作業遂行測定（COPM）：作業療法で標的とする課題に関する評価法
- ⑥ 感覚プロファイル（SP）：子どもの感覚処理に関する質問紙
- ⑦ M-ABC2：子どもの運動機能を測定する検査
- ⑧ 作業療法終了時に実施する養育レジリエンスに関するインタビューの音声データ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻

講師・五十嵐 剛

愛知県名古屋市東区大幸南 1-1-20

052-719-1374

igarashi.go.z6@f.mail.nagoya-u.ac.jp

研究分担者：

名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻 博士前期課程

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 作業療法士

早川 隆也

苦情の受付先：

名古屋大学医学部保健学科総務係：052-719-1504